

《第3回富士宮市地域公共交通活性化再生会議》

○日時 令和元年9月12日(木)13:30～

○会場 富士宮市役所 4階 410会議室

○出席者

委員 14人

芦澤英治会長・茂木一郎委員・篠原克敏委員・増田新吾委員・大河原忠委員・藤巻一正委員・山崎好信委員・篠原康夫・岩垣俊哉委員・松田始静岡運輸支局輸送企画専門官(久保田素広委員代理)・宮原健一委員・山崎友寛県地域交通課主査(大倉篤委員代理)・村手克巳委員・鈴木清秀委員

事務局 5人

市民部長 赤池英明・市民生活課長 角田好和・市民生活課参事兼交通対策室長 佐野孝明・市民生活課交通対策室主査 岩崎朱美恵・市民生活課交通対策室 佐野陽日

報告事項①単独維持困難路線等に係る申し出について 2人

富士急静岡バス株式会社 米山氏・山梨交通株式会社 上野氏

報告事項⑦富士宮駅前整備事業の概要調査実施について 説明者 3人

都市整備課長 佐野慈美・都市整備課地域整備係長 穂坂友治・都市整備課都市整備係技師 佐野和也

合計 24人

【開会】

事務局(岩崎)

委員の皆様、本日は大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから令和元年度第3回富士宮市地域公共交通活性化再生会議を開会いたします。

進行を務めます市民生活課 交通対策室の岩崎と申します。よろしくお願いたします。本日の会議は、協議事項1件、報告事項7件を予定しております。よろしくお願いたします。

それでは会議に入るにあたり定足数につきましてご報告申し上げます。会議規約第7条第2項におきまして、会議の開催要件に、委員の過半数の出席を求めているところでございますが、本日の出席委員は代理出席を含めて14人であることから、過半数に達しておりますので本日の会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、次第に従いまして議事に移りたいと思います。会議規則第7条第1項の規定により、ここからの会議は、会長が議長を務めることになっておりますので、芦澤会長に議事の進行をお願いいたします。

議長(副市長)

どうもご苦勞様でございます。本当にお忙しい中お集まりいただきました。まだまだ、暑さも厳しいと言っておりますが、今日は少し楽になっておりますけれども、そういう中でこの会議においでいただきました。手続き上やはりいろんな交通関係の改正をしたり、いろいろな許可の手続きを取るにはまずは地元の協議会、うちで言いますと活性化再生会議を経てあげるという鉄則上なっておりますので皆様にお集まりいただきご審議をお願いする訳でございます。

規約に基づきまして議長を務めますのでよろしくお願いたします。

まず、議事に入ります前に今回の会議には報告事項の説明者として富士急静岡バス株式会社様、それから山梨交通株式会社様の担当者にご出席いただいておりますことをご了解、お願いいたします。それでは議事に入りたいと思います。

はじめに、第1号議案であります「宮タク（上野エリア）の増便について」を議題とします。事務局に説明をお願いします。

（1）提案事項

第1号議案 宮タク（上野エリア）増便について

事務局（佐野室長）

交通対策室長の佐野でございます。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。それでは、資料1「宮タク（上野エリア）の増便について（案）」をご覧ください。

増便理由としましては、富士急静岡バス株式会社様の柚野線の減便に伴う代替措置でございます。これは、5月28日の地域公共交通活性化再生会議で、柚野線の富士宮駅17時55分と18時55分の10月1日からの減便については、承認されております。その中で通勤されている方が1名、通院で使われている方が1名、通学で使われている方が1名その便を使っていたということで今回通勤に使われている方から、減便後の移動手段の確保に強く要望がございまして、柚野線の減便に伴う代替措置で宮タクを増便するものでございます。

増便内容としましては、街中ゾーンから上条・精進川・柚野方面の下り便に18時発の便を追加するものでございます。

下の表を見ていただきまして、追加というところをご覧ください。Aブロック街中ゾーンを18時発、Bブロックを18時10分発、Cブロックを18時20分発というものになっております。

月曜日から土曜日の週6日でほかの便と変わりはありません。ただし、日・祝日および12月29日から1月3日は運休となります。これも変わりはありません。運賃（料金）の種類、額及び適用方法は、ほかの便と変更はございません。増便予定日は、令和元年10月1日（火）を予定しております。どうぞよろしくおねがいたします。私からの説明は、以上となります。

議長（副市長）

事務局からの説明は終わりました。

今、説明がありましたとおり、前回ですねこの会議で決めていただきました、富士急静岡バス柚野線が減便になるということで、やっぱり利用者の方からなんとかしてくれという話があつて、タクシー協会のほうとお話をしてその追加をしたいということだそうです。もう少し内容が分かりにくいようでしたらおききいただきたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。Aブロックは主にどこからですか。駅からですか。

事務局（佐野室長）

街中ゾーンからですが、今回主に使われるのは駅からになります。

議長（副市長）

街中ゾーンの中からはなりますからどこからでも乗車できますけれども、やはり通勤通学に使われる方は恐らく駅からだということですね。よろしいでしょうか。それでは特にご質問が無いようですのでお諮りをいたします。第1号議案であります宮タク（上野エリア）の増便については原案のとおり承認することでご異議ございませんか。

（異議なし）

ご異議なしと認め、原案のとおり承認いたしました。以上で、協議事項は終了いたしました。なお、この増のタクシー会社さんはどこでしょうか。

事務局（佐野室長）

ホンダタクシーです。

議長（副市長）

これはゾーンごとに割り振りがありましてホンダさんのほうにお話をして協力いただいてこれはなかなかこれ以上遅くなると普通の業務に支障が出てしまうのでそのギリギリのところ、この時間ならばできますよということでしたと聞いております。よろしくお願ひいたします。

（２）報告事項

①単独維持困難路線等に係る申し出について

議長（副市長）

続きまして、報告事項を議題といたします。「報告事項①単独維持困難路線等に係る申し出について」です。この件につきましては、内容が民間のバス路線にかかわるものですので、申し出事業者である富士急静岡バス株式会社及び山梨交通株式会社の御担当者様から説明をお願いします。

それでは、初めに、富士急静岡バス株式会社様から説明をお願いします。

委員（茂木）

はい。どうもこんにちは。富士急静岡バスの茂木（もてぎ）でございます。

今回申し出させていただきます路線については当社が単独で維持することが困難なので引き続き御支援を賜りたいという趣旨での申し出となります。担当から詳細について説明をおねがひします。

富士急静岡バス（米山氏）

担当の米山と申します。着座にて説明させていただきます。

補助金の国庫補助地域間幹線富士宮市から富士市に跨る幹線バスの単独継続困難と、もう一つ、富士宮市内で完結する路線につきましてご説明させていただきます。

具体的には、9月30日に静岡県生活交通対策協議会に申し出をさせていただいて、国庫補助地域間幹線バスにつきましては令和3年度の令和2年10月1日から令和3年9月30日分、そして富士宮市域内で収まる路線の単独継続困難、補助金の受給申請に係るものがこちらにつきましては、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの運行分につきまして引き続き補助金等を御支援頂きながら受給をお願いしたいと9月30日に申し出させていただくものです。

まず資料2でございますが、表題が令和3年度バス路線退出意向申出書ということで、1ページ目をご覧ください。こちらは、地域間幹線の富士市内にまたがる4系統でございます。

こちらは、国の扱いでございますが、令和3年から3ヶ年分を申し出させていただきます。地域間幹線が本年は4系統でございますが、昨年は3系統のところ、1系統増やして申し出させていただいております。内容としましては、以前協議させていただいた系統で、大月線こちらが、30-2と、新規で世界遺産センター線が統合再編によって系統が増える形となります。

もう一つ新規で大淵線がございますが、こちらは既存で、吉原中央駅からそれまで富士宮駅まで運行しておりましたが、10月1日からは、富士駅まで延長して系統が新しく変わるということ

で、新規と記載させていただいております。統合再編によって2つ扱いが変わったということで、1系統増えた4系統で申し出させていただきます。具体的には4ページ目が路線図となります。

こちらで、前回までの協議で決定させていただいた部分をご覧くださいと思います。3番目が新富士駅から吉原中央駅を経由し、富士山世界遺産センターまで運行する路線、4番目の大淵線が、富士宮駅から脳研、中野を経由して吉原中央駅を通り、富士駅まで延長した路線となります。経路としては以上となります。地域間幹線を含めての説明は以上となります。

次は6ページ目になりますが、表題が令和2年度バス路線等退出意向申出書ということで、こちらは富士宮市内で完結する系統でございます。本年は、新規が3系統北山線ございますが、合計12系統ということで、前年の9系統から3系統増えております。

こちらでも先ほどの地域間幹線の説明と同じように、前回までの協議で北山線の運行再編ということで新しく系統が分かれた部分があります。具体的に北山線というのが申し出番号の5-1、4-5、4-1、4-7とございますけれども、こちらがルート変更等発生しているもので、系統が分かれているものでございます。新規といいますと、下から3つの北山線、富士宮駅から、北高前・白糸の滝経由の休暇村富士という路線と、こちら若干再編の部分が入っておりますけれども、生活交通としても、また前回まで観光利用を図っていくということで運行しておりましたが、全体として欠損額が出ているということで、引き続きご支援を申し出させていただくものでございます。

具体的なルートとしましては、8ページの路線図をご参照いただきながら、ご確認いただければと思います。以上につきまして、9月30日に静岡県生活交通確保対策協議会に申し出させていただきますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

議長（副市長）

ありがとうございました。富士急静岡バス株式会社様からの説明は終わりました。報告事項ですがこの機会ですので何かお聞きになりたい事、確認したい事がありましたらお願いいたします。

いかがですか。前回の会議では、路線の変更について決定をいただきまして、新富士からの路線それから、休暇村富士の路線については承認しましたので、それらを含めて単独維持困難ということで県の協議会のほうへ申し出るのに先立って、この会議の中で皆様の決定をいただくということでございます。よろしいですか。

大倉委員代理（山崎主査）

すみません。静岡県です。資料2の1ページ目、大月線系統が新規になっていますが、元々富士宮駅から吉原までのルートがあり、そこから富士駅まで伸ばしているようですが、新規ではなく元々運行していた路線を延長したものでよろしいですか。

富士急静岡バス（米山氏）

はい。そうです。

大倉委員代理（山崎主査）

なので、起点が吉原から富士宮駅だった路線が、富士駅から吉原そこから富士宮駅で系統距離数が伸びているということですね。つまり新規の路線ということでしょうか。

富士急静岡バス（米山氏）

はい。そうです。

大倉委員代理（山崎主査）

わかりました。ありがとうございます。

議長（副市長）

その他いかがでしょうか。ないようですので、次に山梨交通株式会社様から説明をお願いします。

山梨交通株式会社（上野氏）

こんにちは。山梨交通株式会社上野と申します。着座にて説明させていただきます。資料 3 令和 3 年度バス路線退出意向等申出書をご覧ください。申し出はこちらにあるように富士宮駅～イオン・星山台～蒲原病院線、4 ページ目に運行系統図が記載されています。富士宮を出まして、イオンに立ち寄り、あと住宅街である星山台に入りまして、蓬莱橋を渡って旧富士川町に入り蒲原病院に向かいます。平日 12 本、休日 6 本平均すると 1 日あたり 10.3 本の系統でございます。

こちらの路線については、平成 14 年に現在は山梨交通ですが、皆様には馴染みのある山交タウンコーチという子会社に路線を譲渡し平成 14 年、16 年、23 年と路線再編を行って、経費と歳入の改善を行いながら運行しておりました。昨年の 10 月以降また、改めて山梨交通に戻りまして路線維持に努めているところであります。しかし、単独での運行が依然困難であるため、申し出たしだいでございます。簡単ですが以上です。

議長（副市長）

ありがとうございました。山梨交通株式会社様からの説明は終わりました。何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。特に内容は変わらず、単独維持困難ということで申請をするということです。よろしいですか。特にご質問がございませんので、報告事項①について終わります。

②市営バス等の運行に係る申出について

議長（副市長）

次に、「報告事項②市営バス等の運行に係る申出について」を議題といたします。事務局に説明をお願いします。

事務局（佐野室長）

それでは、説明させていただきます。これは、来年度の宮バス・宮タク事業につきまして、県の生活交通確保対策協議会へ毎年申出を行うものでございます。県の確保維持計画に乗せていただいて、国、県の補助を受けるために申し出するものです。

資料 4 の 1 ページをご覧ください。1～12 については宮バスの運行内容になります。令和 2 年度は、今年度と変更なく運行する予定でございます。路線図につきましては 3 ページ目をご覧ください。市営バス運行形態図がございまして、中央循環として宮 1 と宮 2、ちょうど総合福祉会館の西側に記載されておりますが、市内を周るものでございます。そして、東南循環で宮 3 ということで、富士宮駅南口を起点としまして出水や小泉方面を周り帰ってくるものでございます。

そして、宮 11 は芝富線、宮 12 は稲子線、宮 13 香葉台線、宮 14 は稗久保線ということで、芝川路線の記載になっております。先ほど申しましたように、今年度と運行内容の変更はございません。

それでは、2 ページ目をご覧ください。13～21 につきましては、宮タクの事業内容になっております。上から 4 つ目の申し出番号 16 上野エリアですが、先ほど第 1 号議案で承認されました上野エリアの一日あたりの運行回数が、1 便増便するという事で昨年よりも 0.5 回増加しております。そこだけが、変更点でございます。

4 ページ目をご覧ください。これは、富士宮市デマンド型乗合タクシーの運行系統図になります。宮タクの系統図になっております。宮タクにつきましては、市内を 9 つのエリアを 6 つのタ

クシー事業者さんのほうで担当していただいてこのような区割りになっております。これにより、芝川地域の一部地域を除いて市内全域をカバーして市民の生活交通のセーフティーネットを引いている状況でございます。私からは以上でございます。

議長（副市長）

はい。説明は終わりました。市営バス等の運行に係る申出について何かご意見、ご質問ありましたらお願いします。内容は、上野線の片道だから+0.5 その分が増えただけでございます。ご質問無いようですので、報告事項②を終わりといたします。

③PDCA（事業評価）の中間報告について

議長（副市長）

続きまして、「報告事項③PDCA（事業評価）中間報告について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局（佐野室長）

それでは、資料5「令和元年度（平成31年度）宮バス事業評価（4月から7月）」をご覧ください。

宮バスと宮タク事業は、富士宮市公共交通PDCA（事業評価）指針に基づき、2年に一度本評価を行うこととなっております。本年度は、本評価と本評価の中間の年、前回は昨年行いましたので今年は中間の年となって仮の評価を行う年でございます。本評価で、2回Eを取った場合、または3回連続してDだった場合については、運行を廃止し新たなシステムを構築するという風にPDCAではなっています。

しかし、現状ではそのまま路線廃止してしまうと、生活交通の空白地域になってしまうため、なかなか厳格に運用することが、難しい状況にはございます。そういう中で、皆様のところ今年度につきましては仮評価という形で報告するものでございます。それでは表の見方から説明させていただきます。

まず、上のほうに総事業費、67,218,000円と書かれています。これは、宮バスの委託予定事業費となっております。実車走行距離としましては、199,840.5km。県補助金見込みとしましては、6,538,000円。国庫補助金見込みとしましては、7,076,000円ということで、国庫補助につきましては、フィーダー系統これは、国庫補助を頂ける要件としましては、地域間幹線系統に接続している要件がございます。そういう中で、東南循環と北循環が国庫補助を頂いている状況にあります。

それでは、中央循環を例に説明させていただきます。まず、路線事業費です。これは、中央循環の4ヶ月分の路線の事業費を案分して計算させていただいております。路線事業費としましては、8,738,340円で、運賃収入は2,784,617円、そして、補助金収入が1,769,820円、オーナー収入が1,020,000円で、収入合計が5,574,437円となっております。これを先ほどの路線事業費に対する収入合計の占める割合を出しますと、64%という形になります。下のところを見ていただきますと、収支評価点数が4点ついております。これは先ほどの収支割合が60%から84%は4点をつけることになっていまして、収支評価としましては4点を獲得しております。

利用者数としましては、14,891人で、利用者目標値としましては、10,960人ということで、人数達成率としましては、136%という形になりまして、人数評価点としましては、4点。これも下の表を、見ていただきますと136%といいますと、110%から159%は4点ということで、4点となります。

そして、収支評価と人数評価を合算したものが、総合得点となりまして、収支評価の4点・人数評価の4点を足しますと8点になります。8点といいますと8点から9点はB評価という形になり、総合得点はB評価となります。

満足度評価のところは B という評価がついておりますが、これは後程説明いたしますが、利用者満足度調査におきまして「宮バスの満足度はいかがですか」という問いに対して、ご回答いただいている平均が 4.2 点ということになっております。4.2 点ですと B 評価という形になりまして、満足度は ABC の B になりますのでプラス評価、総合評価は、「B プラス」という形になります。

中央循環におきましても、路線事業費 8,738,340 円に対して収入合計 5,574,437 円ということで、収支としては 64%ということで、運賃収入・補助金やオーナー収入を入れての額になっているので、なかなか運賃収入だけでは路線を維持していくのは厳しいというような状況が見て取れます。

総合評価を見ていただきますと、そのような状況ではありますが、B+評価ということで、平成 30 年度の評価と比べましても変わらないというようになります。

もう一つ例を挙げさせていただきます。芝川路線の香葉台線がございます。この路線は総合評価が D+ ということで、あまりよろしくない評価となっております。

内容を説明させていただきますと、路線事業費が 1,568,420 円で、運賃収入が 340,680 円ということで、路線事業費に対する運賃収入の割合が約 1/5 になっております。補助金 317,660 円を入れて収入合計が 658,340 円ということで、収支率が 42%となり、収支評価が 2 点となっております。

利用者数も 2,004 人で、利用者目標値の 1,872 人を若干上回っている形になり、人数達成率も 107%で人数評価も 3 点を獲得しております。

総合評価は 5 点ということで、4 点から 5 点が D 評価なので、D 評価となります。満足度評価につきましては、4.2 点が宮バス全路線の評価となりますので、全ての路線が満足度評価 B となり、香葉台線の総合評価は総合評価の D 評価と満足度 B のプラス評価を合わせて「D プラス」という評価になっております。

続きまして、2 ページ目をご覧ください。次に、宮タクの事業評価になります。これにつきましても、4 月から 7 月という形になります。

例を挙げて説明させていただきますと、山宮エリアで運行経費が 2,031,480 円、運賃収入が 576,500 円、補助金が年額 1,305,000 円の 4 ヶ月分である 435,000 円で、収入合計が 1,011,500 円で収支率が 50%となります。収支率目標を 35%としていますので、目標を超えており、収支評価が 50%以上ということで、5 点となります。

運行台数は 659 台、輸送人数は 1,097 人、1 台当たりの平均乗車数は 1.66 人で、平均乗車数目標値が 2.00 人ですので、目標値には届きませんでした。平均乗車達成率は 83%という形になります。平均乗車評価点は、83%ですと、50%から 99%の間になりますので 2 点になります。

収支評価点 5 点、平均乗車評価点の 2 点で総合評価点が 7 点。満足度評価は、利用者アンケートの満足度によって評価するもので、宮タクは各エリアで評価を行っています。北部エリアに関しては回答がありませんでした。そのような中で、満足度評価で各エリア 3.8 点以上となり、B 評価となりますのでプラスとなります。山宮エリアにつきましては、総合評価が 7 点で C 評価、満足度評価がプラス評価なので「C プラス」評価となります。

同様に各エリアを評価したものが以下の表となります。山宮エリアから北山エリアまでは昨年の評価とほとんど変わりませんが、北部エリアにつきましては、人穴小学校の児童を上井出小学校の児童クラブまで送る事業を行っており、それによってコンスタントに運行をしております。夏休みの間に若干利用者が増えております。北部エリアの利用が伸びており、C プラスに改善しております。私からは以上になります。よろしく願いいたします。

議長（副市長）

はい。事業評価中間報告についてでした。説明で分かりにくかったと思いますが、どんな事でも結構ですのでご質問をおねがい致します。市としましては 1 ページ目の宮バスですが、全体的

に4月から7月の4ヶ月ですけれども、2,200万円くらいかかると、そのうち収入が、500万ちょっとしかないという事で、結果的には補助金、それから各バス停オーナー収入でも4ヶ月だけでも、180万円くらいの収入があると、いろいろ工夫をして不足分を補っている訳でございます。

何度か評価がEになって3年どうしようかなと、原則は廃止ですが廃止すると後がないと、今のところはなんとかDプラスで留まっているので、何とか説明がつくのかなと思っておりますが、いろんな課題を抱えているところです。宮バスについて何か質問等はよろしいでしょうか。

宮タクについては、それを先ほどのバス路線が廃止になったところに運行しているところですが、なかなかまだ周知が難しく、市として一番気にしている所は平均乗車人数です。

つまり1人ということは、一般タクシーと変わらない訳ですので、宮タク1台の車に2人以上乗っていただければ、いいですけれども平均を致しますと、1番高い所で1.78人。低い所で1.10人と一般タクシーと変わらないですので、それは公共交通として1人の為に補助を出すのは難しいのかなと思っております。そんな所を見ていただくと、難しさがあるというのが分かっていたかと思っております。ご質問等よろしいでしょうか。

事務局、今回の議会で質問もできていますが、宮タクについて利用を広めるためにどんな工夫をしているか教えてください。

事務局（佐野）

宮タクを市民周知するという課題があります。利用方法がわかりにくいという事で、宮タクにつきましては現在、岳南朝日新聞社様の協力で、新聞の記事が空いている時に、下1/3くらいを使って広告を載せていただいております。これによって9月に入ってから、半月ほどで40人の登録があり、例月の人数を大幅に上回っております。

10月には、広報に宮タクの特集記事を掲載する予定であります。そして、地域説明会も今年度は6件の申し込みがありまして、順次10月から宮タク及び宮バス・民間路線バスの利用促進に努めてまいりたいと考えております。

議長（副市長）

宮タクの普及促進ということを一生懸命行っておりますので、よろしく申し上げます。

これを見ていただくと実際の運行経費の約1/3くらいで乗車できるので、相乗りと限られた時間と使い勝手は確かに悪いですが、ワンコインで行けるということで、もっともっと普及するように市のほうも宣伝するようにしなければいけないなと思っております。

そのほかよろしいでしょうか。ご質問特にないようですので、報告事項③を終わります。

④平成30年度利用者満足度調査結果について

議長（副市長）

続きまして、「報告事項④平成30年度利用者満足度調査結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局（佐野）

それでは資料6をご覧ください。平成30年度宮バスと宮タク利用者満足度調査の結果報告となります。1枚めくっていただきます。目次がございまして、宮バスの利用者満足度調査結果、そして宮タクの各エリアの利用者満足度調査結果となっております。

調査期間は平成31年2月18日から3月20日まで、調査対象は、調査期間中に宮バス・宮タクを利用した人ということで、宮バスの各社に調査票を載せていただきました。富士急静岡バスさん、信興バスさんにご協力いただき調査しております。宮タクにつきましては、各タクシー事

業者さんに宮タクに乗られた方に対して調査票を配布して、次に乗車されるときに回収する形で調査しております。

それでは、1 ページ目をご覧ください。はじめに宮バスの概要になります。

まず、性別についてです。男性 13 名、女性 19 名の合計 32 名の回答がありました。2「車の運転はしますか」では、84%の方が「いいえ」と回答されています。3 年齢ですが、70 代 9 人、80 歳以上 5 名となっております。アンケート結果から宮バスの利用者で一番多いのは「70 代」の「女性」で「車の運転をしない」人が宮バスの利用者層だとわかりました。

次に、Q1 宮バスの利用目的は何ですか との問いに対しては、「買い物」が 18 人、「通院」が 17 人となっております。「買い物」などの生活交通として機能していることが見て取れます。

2 ページ目をご覧ください。Q2 宮バスを利用する頻度はどれくらいですか との問いに対しては、「ほぼ毎日」が 13 人、「週に 1~2 回」18 人を合わせると、約 90%の人が頻繁に利用していることがわかります。Q3 宮バスを利用している理由は何ですか？ との問いに対しては、利用理由については「料金が手ごろだから」が最も多く、次に「自宅や目的地が近いから」と利用者の多くはバス料金を納得していると思われま

次に 3 ページ目をご覧ください。Q4 宮バスで、行きたい場所があれば、教えてください との問いに対しては、「白糸の滝」「市営住宅」北部への移動手段を期待する回答がありました。Q5 1 番利用したい時間を教えてください との問いに対しては、行きの便は、通院に使われる方が多いためか 9 時台が多く、帰りの便は 17 時台を望む声が多くなっています。

4 ページ目をご覧ください。Q6 料金はいかがですか では 85%の方が「ちょうどいい」と回答しています。そして、Q7 宮バスに関する市からの情報は足りていますか との問いに対しては、利用している方の回答のため情報量「足りている」との回答が 62%となっております。

以上を踏まえて、あなたの宮バス満足度を 5 点満点で点数をつけてください との問いに対しては、4.2 点をいただいております。これは、地域公共交通計画に定める目標値は 3.4 点以上となっております。その他にご意見等があればご記入くださいということで、自由意見が載っておりますので後で、ご一読ください。

次に 5 ページ目宮タクになります。まず、宮タク利用者の概要です。男性 21 名、女性 75 名、無回答 1 名の合計 97 名で女性の利用のほうが多くなっております。2「車の運転はしますか」88%の方が「いいえ」と回答されています。3「年齢」ですが、80 歳以上 46 名、70 代 37 人、60 代 3 人となっております。

回答者のうち、8 割以上は「女性」で、「車の運転をしない」「70 代以上の高齢者」が宮タクの利用者層であるとわかりました。Q1 宮タクの利用目的は何ですか との問いに対しては、通院が 87 人、次に買物が 68 人となっております。宮タクは「通院」、「買い物」などの交通弱者の足を確保する目的で運行しているので生活の足を支えている事が見て取れます。

次に 6 ページ目をご覧ください。Q2 宮タクを利用する頻度はどれくらいですか との問いに対しては、「週に 1~2 回」が 43 人、「月 1~2 回」が 45 人と全体の約 9 割を占めており、よく利用する人がいる状況がうかがえます。Q3 宮タクを利用している理由は何ですか？との問いに対しては、利用理由については「家まで迎えに来てくれて目的地まで行けるから」が 78 人で最も多く、やはり高齢の方で外出が大変な方がタクシーの利点を享受している様子が見て取れます。

Q4 宮タクで、行きたい場所があれば、教えてください との問いに対しては、行きたい場所として多く挙げたのは、商業施設や病院でした。

続いて 7 ページ目でございます。Q5 1 番利用したい時間を教えてください との問いに対しては、ほとんどのエリアで、使いたい時間をカバーしていますが、現在運行中の時刻以外の時刻を希望する声がありました。

次に、8 ページ目をご覧ください。Q6 料金はいかがですか については、「ちょうどいい」が 79%、「安い」が 16%でおおむね納得していると思われま

ていますか」との問いに対しては、情報量は、63%が足りていると感じているが不足しているとの回答も約3割ありました。引き続き、情報提供をしていきたいと思えます。

以上を踏まえて、あなたの宮タク満足度を5点満点で点数をつけると、4.4点となっています。また、その他にご意見等があればご記入くださいということで、9ページに自由意見が載っておりますので後で、ご一読ください。11ページ目からは、エリアごとの結果が載っていますので、またご一読ください。私からは以上でございます。

議長（副市長）

事務局からの説明は終わりました。利用者満足度調査につきましてご意見、ご質問もしくは感想等ありましたらお願いいたします。

これを見ますとよくわかりますね。70から80の女性が多いと。特に市のほうでは、免許返納についても力を入れて、今年からですか。富士急静岡バスさんの定期券を対象としたのは。

事務局（佐野）

今年の4月から、富士急静岡バスさんのシルバー定期券と、山梨交通さんのゴールド定期券の購入にも免許返納者に渡している補助券を使えるように、範囲を拡大しました。

議長（副市長）

今、高齢者の事故もいろいろありますので、返納者も増えてきているのかな。

いかかでしょうか。また細かな調査をしており、エリアごとにお行っているの、今日、出席されている地元がどんな風になっているのかお目通しいただければと思います。

それでは以上で、報告事項④を終わりといたします。

⑤令和元年度市民満足度調査結果について

議長（副市長）

次に、「報告事項⑤令和元年度市民満足度調査結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局（佐野）

それでは資料7をご覧ください。令和元年度市民満足度調査の結果報告でございます。

1枚めくっていただきます。目次につきましては、全体集計の結果、支部地区の詳細について、その他の意見で構成されております。

それでは、1ページ目をご覧ください。日常の移動についてのアンケートでございます。基準日としましては、平成31年4月1日に市内在住で平成16年4月1日以前に生まれた方で、外国人の抽出はございません。男女別、年代別、地区別に均等が取れるように抽出しております。本年度および平成30年度に実施した市民アンケート送付者を除いております。令和元年5月27日から6月10日までを実施期間としまして、発送は1,327通。そのうち、41.52%の551人からの回答がございました。

それでは、支部別の回答者数ですが、例年と同じように富丘、富士根南支部が多くなっております。

次に、アンケートの回答者の性別でございますが、女性が57%、男性が38%となっております。年代では、60代が23.4%で最も多く、交通弱者の枠に入る10代4.0%、70代は22.3%となっております。それでは、2ページ目をご覧ください。アンケートの回答者の職業ですが、「会社の勤め人」が27.6%で、次に「その他」という結果になりました。続いて、車または、バイクの運転をするかという問いに対しては、「する」と答えた方が77.5%となりました。

次からは設問に対する回答結果となります。Q1 外出の頻度は、「ほぼ毎日」が 63.7%で、次に「週に 3~5 回」が 18.3%となり、8 割以上の市民が週 3 回以上外出していることがわかります。Q2 外出の目的としては、回答者の年代のうち就労世代が多いことから、やはり「通勤」が 41.7%と一番多くなりました。続いて「買い物・食事」が 27.6%、「通院」が 10.7%という結果になりました。

次に、Q3 外出時の移動手段 についての設問です。一番多いのは「自分で運転する車で移動」する方が 75.5%で、次に多いのが「家族・知人による送迎」が 10.5%になりました。その下の棒グラフは、Q3 の自分の移動手段についての満足度を尋ねたものです。各手段の平均値のグラフとなります。やはり一番多いのは「1 の自分で運転する車」の 4.3 点、「宮タク」につきましても、4.3 点で人数は少ないですが、高い評価をいただいていると考えられます。

次に 4 ページ目をご覧ください。Q4 外出時間帯 についての質問です。「午前 8 時以前」が 29.9%で最も多くなりました。この理由としては、Q2 の外出の目的として「通勤」という目的で外出する人が多いことから、当然の結果だと考えます。また、約 8 割の方が午前中に家を出ることがわかります。

次に、Q5 帰宅の時間帯 についての質問です。これもやはり通勤者の帰宅時間帯と考えられる、午後 5 時~7 時が 29.0%で最も多い結果となりました。

次に、Q6 は、Q3 自分で運転する方に対して「エコ通勤への関心度について」伺ったものです。市でも CO2 削減に取り組んでおりますが、第 1 位は「マイカーは便利なので、公共交通が充実しても転換が難しい」が 41.4%で一番多い回答となりました。この質問は毎年ありますが、毎年ほぼ同じ傾向でした。Q7 どのような事が整えば、電車、民間路線バス、一般タクシーを利用しますか については、「路線バスの増便」が 39.4%で一番多い回答でした。

次に 6 ページ目をご覧ください。Q8 市営公共交通について、今後どのようにしていくのが望ましいと思いますか という質問です。一番多かったのが「市が予算を増額することで、路線拡大や増便を行い、マイカーが無くても困らない、公共交通が充実した社会を目指すべき」で 45.7%となり、続いて「市は予算を節約し、交通弱者が困らない必要最低限の公共交通を確保すればよい」が 22.7%で、「市だけに頼るのではなく、地域が応分の負担をすることで、地域の実情に合った公共交通の仕組みを構築すべき」が 14.9%となりました。なかなか、利用が増えてこない予算も限られておりますので、その中でいかに市民の足を確保していくかが課題となっております。

これは昨年と同様の結果となりました。Q9 日常の移動に困っているか という質問です。「困っている」という人が 14.0%、「困っていない」と答えた人が 82.9%となりました。回答者の多くがマイカーを使われているので、このような結果になったのだと思います。

Q10 移動手段の満足度 についての質問です。回答者全体の平均としては、4.0 点となりました。各年代における満足度の平均値ですが、20 代から 60 代までの平均値はだんだん伸びていき、やはり免許返納を意識したり、身体が動かなくなってきたりというような 70 代、80 代以上については満足度が低くなっていく状況でございます。

全体集計結果の説明は終了させていただきますが、8 ページ目は、各支部の行政区についての詳細となっております。そして、9 ページ目からは、その他にご意見があればということで、宮バス・宮タクに関するご意見、公共交通に関する意見が記載されておりますが、内容としましては、今は困っていないが、免許返納後の足を確保するため公共交通の充実をお願いしたいというご意見が多かったように感じております。私からは以上とさせていただきます。

議長（副市長）

市民満足度調査についての報告でした。こちらは、非常に細かな調査をしておりますので、ご意見がたくさん出ておりますので、これを見ると、考えさせられてしまいます。これを見てお分かりの通り、若い方は困っていない、満足度が高くなっていますが、70 代・80 代の交通弱者と言われる方をどのようにしていくのが公共交通の在り方のテーマだと一目瞭然だと思います。

いろんな課題がありますが、市でも何とかしたいと思っておりますが、経費の面だとか費用対効果などの問題があって難しいなというところでございます。

山崎主査（大倉委員代理）

細かい調査をされていて素晴らしいなと思ったのですが、デマンドのニーズというところで、選択項目 4, 5, 6 の一般公共交通の満足度平均が宮タクのほうが高いのかなと思ったのですが、利用者アンケートですと、バスの満足度が高くなっていましたが、この差というのはどういった点になりますか。

事務局（佐野）

市民満足度調査に関しては、市民を無作為に抽出して調査しております。利用者アンケートは実際に宮バスを利用されている方に回答いただいているので、満足度に差があるのだと考えております。

議長（副市長）

そうですね。市民満足度調査はランダムに抽出して、利用者アンケートは宮バスや宮タクに乗ったお客様が対象となっていますので、差が出てきてしまいますね。

よろしいでしょうか。それでは報告事項⑤については、以上としたいと思います。

⑥令和元年度「のりもの祭」について

議長（副市長）

次に、報告事項⑥令和元年度のりもの祭の実施について、事務局に説明を求めます。

事務局（佐野）

それでは議案書の 2 ページ目をご覧ください。令和元年度のりもの祭の実施についてです。

日程は 10 月 19 日（土）と 20 日（日）の 2 日間で、市役所北側駐車場で開催します。委託事業者である、富士急静岡バスさんや信興バスさんにご協力いただいて宮バスの展示や、タクシー協会さんにもご協力いただいて、宮タクの展示を行います。宮バスでは乗車した際に、運転手さんの格好をし、運転席に座って写真を撮り、オリジナルカレンダーにして贈呈しています。この企画は好評で「毎年並べて、子どもの成長を見ているよ」とのお声をいただいております。

また、ミステリーバスツアーということで、今年度初の試みであります。路線バスを使い富士急静岡バスさんにご協力いただいて、19 日の午後に行います。行先は秘密ですが、田園風景から富士山が望める場所、買い物、普段では絶対できない体験をしていただくツアーを計画しています。数としては 2～30 人を予定しております。

あとは、来場者アンケートや、山梨交通さんが所有している、「降車ボタン押し放題」の機械設置を計画しております。よろしくお願いたします。私からは以上でございます。

議長（副市長）

はい。のりもの祭の実施についてでした。なお、これはのりもの祭単独での開催ではなくて。

事務局（佐野）

市民生活展と市民緑化祭、環境フェアが同時に開催されます。

議長（副市長）

大勢人がいらっしゃいますね。この周知はどのように行いますか。

事務局（岩崎）

周知は、広報ふじのみやと、開催の1週間前に新聞に他のイベントと合同で、折り込みチラシを入れる予定です。

議長（副市長）

周知をしっかりとするようにお願いします。のりもの祭についての報告でしたがほかにご質問ございませんか。今年は新しくミステリーツアーなどいろいろ企画しようということで特に親子で親しんでもらえればと思います。

それでは、この報告事項⑥については、以上にしたいと思います。

⑦富士宮駅前整備事業の概要調査の実施について

議長（副市長）

最後になりますけれども、「報告事項⑦富士宮駅前整備事業の概要調査実施について」担当課より説明をお願いします。

都市整備課（佐野課長）

こんにちは。私は、都市整備部 都市整備課長の佐野でございます。本日、お時間を頂戴いたしまして事業の概要と皆様にご協力をお願いしたく参りました。今年度、都市整備課では富士宮駅前広場の再検討利用計画をさせていただいております。

これは、JR 富士宮駅北口に隣接する富士宮駅前広場、昭和 58 年の利用開始から約 35 年が過ぎようとしております。経年による施設の老朽化や、社会情勢の変化による交通事情の変化があり、公共交通の重要施設と位置づけられている広場機能の今後の在り方について再検討を行っていきたく考えております。再検討にあたりましては、当会議を通して委員の皆様へ、この再検討業務の周知をさせていただきたく事で、皆様の所属している組織、あるいは事業所に対してこの業務の中ではアンケートや聞き取り調査をさせていただきたくと計画させていただいております。

その関係から、意見を頂戴し、あるいは、我々のほうの各種調査をいただいた中で改めてまた今年度末を予定しております会議の中で、問題点や課題点などを整理させていただいて、様々な意見を委員の皆様からも頂戴させていただきまして交通接続点としての規格の向上を図っていきたくと考えておりますので、当事業へのご理解とご協力をお願いいたしましてご挨拶にさせていただきます。よろしく願いいたします。

都市整備課（穂坂係長）

引き続き概要の説明させていただきます。資料 8 になりますが、まず資料 2 枚目の参考「富士宮駅前広場周辺の概要」から説明させていただきます。富士宮駅の概要ですが、JR 身延線富士宮駅の乗降者数が 2,401 人平成 29 年の統計結果になります。上下合わせて平日 114 本の電車が動いております。富士宮駅の利用状況ですが、それぞれ管理者等変わっております。検討区域は約 5,400 m²を考えておりますが、右上が市道になります。周辺を一方通行の市道が北側の西から東、東側の南から北へ歩道と一緒に通っております。

そして、市道駅前歩道橋線がありますが、富士宮駅北口を出てすぐの 2 階部分の広場として道路課が管理しております。1 階部分が駅前広場としてバス・タクシー専用の公共交通広場になります。駅を出ますと、エレベーターや階段で降り、券売所やトイレ、バス・タクシーの乗降場所が公共交通広場です。

そして図の青い部分が県道になり、緑の部分は JR 敷地となります。

バス・タクシーの乗入れ状況ですが、富士宮市駅前広場条例に基づきまして、バス・タクシーに専用の乗り入れ許可を当課より許可させていただいております。タクシーの乗り入れ許可台数は6社114台、バスの乗り入れ許可台数は3社77台となっております。平日のバスの発車便数は、時刻表より約150便でそのうち宮バスが16便と、高速バスが7便あります。主な先行は、宮バス市街地循環内回り・外回りと、路線バスが富士、白糸、万野、栗倉、上条、柚野、富士川方面と市内の主要な地区へ運行しております。その他、東京方面への高速バスも運行しております。

続いて、資料1枚目「富士宮駅前広場周辺再整備検討業務について」となります。概要ですが、富士宮駅前広場及びペDESTリアンデッキ（2階部分）を含む周辺道路施設は、利用開始から約35年経過していることや、バス等の利用者数の減少、交通体系の変化、施設の老朽化など、様々な状況変化が生じています。

このため、富士宮市では今年度、バス、タクシー、路線バス及び駅前広場利用者等からの利用実態及び利用状況を把握する調査を実施して、1階部分交通広場周辺は、交通施設の規模や施設配置上について、2階のペDESTリアンデッキ部分は、歩道と広場の両機能を移動円滑化と修景等について課題を明らかにし、整備の必要性を検討するものです。

想定される整備の必要性検討箇所についてですが、「横断禁止箇所の横断」「途切れている点字ブロック」「待合室の段差」「案内所の有効活用」「トイレの段差」「外周道路の破損」「タクシーの降車で使用していた屋根」「乱雑した案内サイン」等を考えております。検討範囲は、1階と2階の市道部分となります。

資料3枚目、実施予定の調査内容については、(1)交通量調査を行います。駅前広場の利用実態の把握のため、駅前広場及びペDESTリアンデッキの歩行者交通量、バス・タクシー駐車台数及び運行状況の調査、市民の方ですが駅前広場送迎車数の調査を平日と休日の2日間実施する予定です。そして、(2)聞き取り調査、アンケート調査ですが、バス事業者・タクシー事業者に普段困っていることがないか聞き取り調査させていただき、交通施設関連における意見を集約いたします。そして、駅前広場を利用されている方にアンケート調査を行い、意見の集約を行う予定です。

スケジュールですが、富士宮駅前広場等再整備検討業務で企画業務を発注予定しております。業務期間は9月契約予定で3月まで、まずは、資料収集を行いまして現況を把握いたします。交通量調査を9月下旬から10月上旬で行い、聞き取り調査とアンケート調査を10月中旬に予定しております。それから、各種調査結果をとりまとめして整備内容を検討いたします。その後、関係機関下会議を重ねまして、再整備計画素案を作成いたします。

そして、こちらの地域交通活性化再生会議の1月中旬に予定されているものに、再整備計画素案を掲示し、ご意見をいただきたいと思っております。そうしますと、実際の工事がいつになるかと思われると思いますが、これから意見を取りまとめますので、場合によっては関係機関下協議が伸びることも予想されます。それらを、解決しながら詳細設計を行いまして、工事を行おうと思っております。具体的な工事時期は決まっておりませんが、再整備について進めていきたいと思っております。

最後に、こちらの富士宮市地域公共交通活性化再生会議へお願いしたい事ですが、アンケート調査、聞き取り調査へのご協力をお願いしたいと思っております。委員の皆様には、アンケート調査ということで、組織の代表者様にアンケートをお願いしたいと思っております。実際に、利用されている方、されていない方がいらっしゃると思いますが、組織の中で意見を出していただき、該当がない箇所もあると思いますがよろしくお願ひいたします。

そして、富士宮駅のバス・タクシー事業者様には、聞き取り調査をさせていただきたいと思っております。また、後日個別にご連絡させていただきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

その後、再整備計画素案という計画方針を1月中旬の会議で提示しますので、ご意見をいただきたいと思っております。説明以上になります。

議長（副市長）

はい。説明が終わりました。また、詳細は後日皆様のところへ行くと思いますので、このような計画があるということだけをご承知おきください。

この際ですのでご質問ありましたらお願いします。ございませんか。使いやすく、駅の前ですので整備をするという方針でございます。

それでは、以上で報告事項⑦を終わります。以上で本日予定されておりました、報告事項はすべて終了いたしました。

（3）その他

議長（副市長）

それでは最後に、富士宮市の公共交通に関するご意見・ご要望等がございましたら、お受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。この後の進行は事務局でお願いします。

【閉会】

事務局（岩崎）

委員の皆様、並びに関係者の皆様、長時間にわたり議論いただきまして、誠にありがとうございました。

次回の会議のご案内をいたします。令和元年度第4回地域公共交通活性化再生会議は、11月上旬に開催を予定しております。事前にご連絡を差し上げますので、お忙しい中、大変恐縮ではございますがご出席をお願いいたします。

以上をもちまして、令和元年度第3回富士宮市地域公共交通活性化再生会議を閉会いたします。ありがとうございました。

14：45 閉会